

発言者	内容
司会（会長）	算数科の教科用図書について協議する。 東京書籍について、いかがか。
委員	まとめや補充など、関連するページがある。 問題数がやや少ない。
委員	6年生の比の学習が、やや早い段階で出てきている。 割合の学習もやや早い。
委員	読みやすく、二次元コードも豊富にあつて、理解しやすい。
司会（会長）	コラムで大谷選手が取り上げられていた。 説明的な活動が多い、比べて考えるなど、わかりやすい。 5年生も分冊になっているが、(上)は学びの扉でノートの例や注意点の記載があるが、(下)は記載がない。
司会（会長）	大日本図書についてはいかがか。
委員	字が大きくて太いが、つまっているように感じて、やや見にくい。
委員	字が太くて見にくく感じる。 写真よりイラストの方が多い。
委員	写真が少し少ない。二次元コードはよい。
司会（会長）	友だちがなぜ間違えたのか考えるのがよい。 説明の仕方や計算方法が具体的でない。
司会（会長）	学校図書について、いかがか。
委員	AB版が大きく、使いにくいように感じる。 内容的にはよい。
委員	提示の仕方は問題ない。 教科書のサイズが大きく、使いにくい。
委員	教科書のサイズが大きい。 6年生の別冊は、どのように使用するのか。
委員	6年生の終わりにまとめとして使用するのではないか。

	2月3月に復習として使用すると考える。
司会（会長）	別冊をもう一度指導するのは、時間的に難しい。 「考え方モンスター」が思考力を高める工夫がある。 5年生「体積」が他の出版社は早めに出てくるが、学校図書は後の方に出てくる。 みんなで学び合う学習過程がやや少ない。
司会（会長）	教育出版について、いかがか。
委員	グラフの方眼が小さくて見にくい。 巻末に三角形の面積の公式等がまとめられている。よいのか。
委員	紙質が薄い。 5年生の「割合」で、「基準量」「比かく量」という言葉を使用しているのは、よい。
司会（会長）	5年生で「基準量」や「比かく量」という言葉を使うのは、どの子にとってもわかりやすいのか疑問に思う。 前学年までの学習内容を掲載しているのはよい。 巻末の付録がやや少ない。
司会（会長）	啓林館について、いかがか。
委員	めあてからまとめまでが、非常にわかりやすい。 準備問題や練習問題が豊富である。
委員	グラフの方眼が大きく見やすく、わかりやすい。
委員	教科書が見やすい。
司会（会長）	4年生（上）にも（下）にもノートの手書き等の記載がある。 算数を学習する上での、進め方や考え方がわかりやすく示されている。 体積に単位を入れている等、配慮がある。 登場人物のつぶやきが「・・・」で終わるため、思考を深めるきっかけになる。 動画が豊富でわかりやすい。
司会（会長）	日本文教出版について、いかがか。
委員	めあてがはっきりしていて、わかりやすい。 問題数も多く、学習してくのにわかりやすい。
委員	見やすい教科書である。 「マテマランド」は非常に楽しく学習できる。

司会（会長）	考えやすい教科書である。 「算数マイトライ」がよかった。 1年生の算数の入門が生活につながっているように構成されている。 単元前に次の学習につながる問題が準備されている。 線が太くはっきりしている。見やすい。
司会（会長）	総括すると、啓林館を1番に推薦し、日本文教出版を2番に推薦してよいか。
委員	異議なし。